

日本フンボルト協会 2014 年度第 2 回常務理事会議事録

日時: 2014 年 12 月 14 日 (日) 14:00~17:00

場所: DAAD 東京事務所

出席者: 広渡、縣、西川、浅田、井田、伊藤、梶、高橋宗五、高橋輝暁、竹下、鰐田、伏木、事務局 関 (以上 13 名)

報告事項

以下、6 点につき事務局および関係常務理事から報告が行われた。

1. 会費納入状況について

- ・12 月 12 日現在 702 口 (そのうち新会員が 60 名) の年会費の払い込みがあった。本年度の年会費納入の目標は 850 口である。

2. 会員のデータ管理について

- ・データの訂正が 220 名の会員から届いた。フンボルト財団本部から届いたリストにある Humboldtianer で確認できない人が 113 名いる。引き続き探索を進める。

3. 支部活動の現況について

- ・各支部に最新の支部会員リストを送付した。各支部の活動状況は以下の通りである。

① 関東甲信越支部

- ・支部活動費が申請に基づき 20 万円支給された。6 月に幹事会を開催し、年間の活動を協議した。12 月 11 日に懇親会を開き 8 名が参加、その後 DAAD のクリスマス・コンサートにグループとして参加した。Senior クラブ的な活動があっても良いとの意見があり検討課題としている。2015 年 3 月に総会の開催を予定している。

② 関西支部

- ・支部活動費が申請に基づき 20 万円支給された。12 月 7 日に幹事会を開催し、総会や支部会則の件について協議した。2015 年 1 月 18 日に総会 (講演会、懇親会) を同志社大学寒梅館で岡林理事の協力で開催する予定である。

③ 中部支部

- ・支部活動費が申請に基づき 10 万円支給された。2014 年 9 月 14 日に総会を開催した。

④ 中四国支部

- ・広島で「ドイツ大使を囲む会」を開催 (下記参照) した際、大森支部長から「会誌の発刊」を提案し、原稿募集の上、発行を予定している。年一回は会合 (総会) の開催を検討中である。

⑤ 東北支部

- ・稲葉支部長のところで「支部連絡網の確立」と年 1 回の総会開催を目指して準備を進めている。

⑥ 九州支部と北海道支部

- ・本部より支部長への連絡、要請が行われている。

- ・各支部の活動を進めていく上で、支部ごとの協会の役員を増やすことを検討することが課題として指摘された。
- ・支部会員名簿の利用の申し出があるが、日本フンボルト協会の目的、活動以外のために名簿提供は行わないことを確認した。
- ・各支部の会員数は、下記の通りである。

現在の【各支部の会員数】 1,772 名

関東甲信越	708 名	関西	435 名	中部	132 名
九州	126 名	中四国	112 名	東北	75 名
北海道	50 名	不明	134 名		

4. 「ドイツ大使を囲む会」の開催について

- ・広島で 2014 年 8 月 6 日 16:00~18:00 (リーガロイヤルホテル広島 3F 「安芸」の間) で「ドイツ大使を囲む会」を開催した。ドイツ大使の広島来訪の機会に本部と中四国支部および DAAD 友の会が共催した。Humboldtianer 9 名、DAAD 友の会会員 6 名が参加し、フンボルト協会中四国支部の交流も兼ねた。DAAD 友の会とティータイムの費用を分担し、フンボルト協会は学術交流企画助成費より 44,758 円を支出した。

5. DAAD 主催の第 2 回アジア会議について

- ・生命科学分野の分科会として 2014 年 10 月 17 日から 19 日に台北で開催された。DAAD の会議であるが、Humboldtianer にも参加が呼びかけられ、Humboldtianer の発表者 5 人と DAAD より 5 人の発表者が参加した。DAAD 元奨学生発表者には DAAD より、Humboldtianer の発表者にはフンボルト財団よりフライト代金につき援助金が出た。宿泊費は主催者側の招待であった。
- ・この「会議」は 3 年前に DAAD が全体会議をソウルで開催し、その後分科会が、とくに生命科学と法学の分野について各国で Seminar として行われた。
- ・今後、分科会が日本で開催される場合、DAAD アルムニの行事という位置づけの下に要請があれば日本フンボルト協会として協力する必要があることが指摘された。

審議事項

1. 総会について

- ・年次総会について審議の上、以下のことを決定した。

(1) 総会の要綱

- ・日時: 2015 年 6 月 13 日 (土)

場所: 京都府立医科大学 (伏木常務理事が設営を担当)

プログラム

12:00-13:00 常務理事・支部長合同会議

13:00-14:00 理事会

14:15-15:45 留学説明会

★14:15-14:20 フンボルト協会ホームページ留学情報検索サイトの紹介

★14:20-14:30 フンボルト奨学金の紹介

★14:30-14:40 DAAD 奨学金の紹介

★14:45-15:45 分科会 (理工系、生命系、人文系、社会系の 4 つに分け、DAAD を加えて 5 グループ)

15:45-17:15 講演会・コンサート

17:15-18:15 会員総会 (後、新理事会)

18:30-20:00 懇親会 京都ホテルオークラレストラン「オリゾンテ」 京都府立医大病院店
(会費 5,000 円)

(2) 講演者について

- ・中国の科学者を招待し、中国の科学技術政策の現状や科学のミスコンダクト問題などについて講演を依頼する。中国の Vertrauenswissenschaftler である Humboldtianer とコンタクトをとり、交渉を進める。

(3) コンサートについて

- ・Steinway のグランドピアノが使用できるので、DAAD 友の会会員のピアニストに依頼する。

(4) ドイツ留学説明会

- ・部門別の説明会に重点を置くこととし、懇親会と別に行い、部門別の担当者は最近留学から帰国した若手 Humboldtianer にあらかじめ依頼する。
- ・懇親会は、会場が手狭であることから、それを勘案しつつ、希望する説明会参加者にも出席してもらおう。

(5) その他

- ・ 常務理事・支部長合同会議に支部長が出席するための旅費については、支部活動費から支弁することができることを確認した。
- ・ 総会でのあいさつを大使または総領事に依頼することにした。
- ・ 本年度は他の団体との共催はない。

2. 名誉会員について

- ・ 常務理事会ですでに決定した通り、旧東日本フンボルト協会において **Humboldtianer** でないがフンボルト財団関係の各種の賞を受賞した人を名誉会員として処遇していたことに鑑みて、これらの人々を日本フンボルト協会の名誉会員として理事会から総会に推薦することとし、そのための内意の確認手続きを行うこととした。
- ・ 今後の名誉会員制度の運用については、方針を総会に提案することとした。
- ・ **Humboldtianer** でない各種の賞の受賞者については、今後、賛助会員としての協力をお願いすることを基本的考え方として了承した。

3. ホームページの運営について

- ・ ホームページの運用状況について、担当の鏝田常務理事から、以下のように報告があり、ホームページ委員会の強化を図り、ホームページ利用を推進することを確認した。
 - ・ 最近新しい記事がなく、執筆者の発掘が必要であり、新人に依頼して留学経験を報告してもらうなどを検討中である。昨年もホームページ委員会を開いたが、まだ、うまく運営できていない。
 - ・ とくに留学支援サイトを充実させることが課題である。問い合わせは頻繁に来ており、井田常務理事が担当し、**Vertrauenswissenschaftler** として回答している。
 - ・ 関西支部もサイトを構築する予定である。また、**Website** の利用者数を調査したい。

4. 支部活動について

- ・ 支部活動については、基本的課題として、①本部と各支部長への連絡体制の確立 ②支部連絡網の確立 ③大学別連絡責任者の確定および ④少なくとも年1回の会員の懇親の場の設営、が確認されており、今後とも全支部でこの基本的課題が実行されるように進めることとした。

5. 次期役員改選について

- ・ 2015 年度総会において、役員（理事、評議員、監事および顧問）の選任が行われるので、これに関し以下のことを決定した。
 - ・ 総会に対して提案する役員候補者案を常務理事会が準備する。
 - ・ 現役員に対して、来期にも継続して就任するかどうかの内意の確認を行う。
 - ・ 支部体制の強化のために支部長に対して支部会員の中から理事、評議員の新たな候補者の推薦を依頼する。
 - ・ 女性役員を増やすこと、とくに常務理事会に女性メンバーを加えることを積極的に検討する。

6. その他

- ・ 地方でも行事を行ってほしいという要望が岐阜の会員から届いていることについて、総会の開催場所や、協会の支部における取組みに工夫することが確認された、

次回常務理事会日程：4月11日（土）に名古屋で開催予定